

# 北海道住宅通信

2021年10月25日号に掲載されました。

## 設計機能を強化したALTA最新版

二つのモードを切り替え可能に

コンピュータシステムを実装した。

研究所(CST、仙台市)は10月6日、建築事業者向け住宅プレゼンシステム「ALTA Revision」の最新版となるバージョン7の販売を開始した。2年ぶりの本格バージョンアップで設計機能を大幅に強化。営業担当者向けと設計担当者向けの二つのモード

を実装した。ALTAはCAD未経験者でも手早く簡単に3Dパースやプレゼンシート、見積書を作成し、法規や構造のチェック、CADとしての図面作成まで行える住宅営業戦略システム。

今回のバージョンアップにより、営業担当者が使いやすいようにユーザーインターフェースを改良した「プレゼンモード」と、設計担当者向けに図面の作成機能を強化した「設計モード」の二つのモードをボタン一つで切り替えられるようになった。

特に設計モードでは従来のバージョンにはなかった図面上の多彩な表現が可能になり、本格的な汎用CADのようにさまざまな用途に活用範囲が広がった。

ALTAは経済産業省のIT導入補助金の対象となっており、同社は申請手続きのサポートも行っている。また、オンラインで製品のデモンストレーション説明を受けることもできる。



価格(税別)はプレゼン・見積パックが180万円、構造パックが330万円(5年間の使用権と保守)。問い合わせ先は同社札幌営業所。電話011(209)2881。